

126 シマセンニュウ

(スズメ目)

Locustella ochotensis

兵庫県ランク:要調査

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道では夏鳥、本州、四国、九州、沖縄では旅鳥。兵庫県では主に6月と10月に記録がある。海岸部の草原や湿原、河川敷、牧草地などに生息し、昆虫類や節足動物などを採食する。

写真なし

国内分布

北海道、南千島、本州、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、トカラ列島、琉球諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、(姫路市)、明石市、(西宮市)、(伊丹市)、豊岡市、(加古川市)、養父市、宍粟市、(加東市)、たつの市、(稲美町)



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

春秋の渡りの時期に、県内を定期的に通過するが、個体数が少ない上に、草の中を潜行するため観察記録は多くない。2000年以降の記録が極めて限られており、最近の生息状況が不明なため、要調査とした。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、主要な生息地であるヨシ原の多くが近年の開発の時代に失われたことが、本種の減少要因であることから、河川敷や池沼周辺での広いヨシ原の再生が重要。